

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト  
試行技術の評価結果(案)(技術I)

技術I: AI、IoTを始めとした新技術等を活用して土木又は建築工事における労働生産性向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
1	阿部建設株式会社 株式会社環境風土テクノ 北海道大学 立命館大学 一般社団法人北海道産学官研究フォーラム 株式会社堀口組 株式会社建設IoT研究所	一般国道5号 仁木町 銀山大橋P5橋脚工事	B
2	株式会社IHIインフラ建設 オフィスケイワン株式会社 株式会社コルク 千代田測器株式会社	国道7号 大砂川橋上部工工事	B
3	沼田土建株式会社 日本マルチメディア・イクイップメント株式会社 立命館大学	R2・3沼田出張所管内維持工事	B
4	金杉建設株式会社 株式会社アクティブ・ソリューション 株式会社創和 ARAV株式会社	R3三郷・吉川河川維持工事	B
5	大成建設株式会社 成和コンサルタント株式会社 横浜国立大学 一般社団法人日本建設業連合会 パナソニックアドバンステクノロジー株式会社 ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社 KYB株式会社 極東開発工業株式会社 エム・エス・ティー株式会社	R2国道357号塩浜立体山側下部工事	A
6	株式会社イクシス 清水建設株式会社	東京外環中央JCT北側Aランプシールド(その2)工事 東京外環中央JCT北側Hランプシールド(その2)工事	B
7	JFEエンジニアリング株式会社 株式会社小川優機製作所	川崎港臨港道路東扇島水江町線アプローチ部橋梁(その2工区)ほか工事	B
8	KB-eye株式会社 丸浜舗道株式会社 一般社団法人全国交通誘導DX推進協会	R2甲府・峡南出張所管内交通安全対策工事	B
9	小柳建設株式会社 株式会社EARTHBRAIN	R3阿賀野バイパスJR跨線橋軽量盛土その2工事	B
10	鹿島建設株式会社 株式会社アクティオ サイテックジャパン株式会社 株式会社渋谷潜水工業 株式会社ハイドロシステム開発	大河津分水路新第二床固改築I期工事	A
11	戸田建設株式会社 株式会社Rist 株式会社演算工房	大野油坂道路新長野トンネル野尻地区工事	B
12	西松建設株式会社 株式会社sMedio MODE、Inc. 菅機械工業株式会社 泰興物産株式会社	大野油坂道路荒島第2トンネル下山地区工事	A

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト  
 試行技術の評価結果(案)(技術 I)

技術 I : AI、IoTを始めとした新技術等を活用して土木又は建築工事における労働生産性向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
13	株式会社桑原組 株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク エアロダイナミクス株式会社 金沢工業大学 芝本産業株式会社 株式会社CLUE	野洲栗東バイパス出庭高架橋P1橋脚工事 他	B
14	株式会社駒井ハルテック 株式会社イクシス	伯母峯峠道路2号橋橋梁上部工事	A
15	蜂谷工業株式会社 株式会社Momo	山陽自動車道 第二西藤橋他1橋耐震補強工事	A
16	株式会社加藤組 トライアロー株式会社 株式会社正治組 スキャン・エックス株式会社 広島大学	令和2年度安芸バイパス寺分地区第4改良工事	B
17	株式会社CGSコーポレーション 洋林建設株式会社 株式会社エイビット	令和2年度岩国大竹道路錦見地区第1電線共同溝工事	C
18	五洋建設株式会社 大阪大学 西行建設株式会社 株式会社ショージ 日本システムウェア株式会社 株式会社ネクストスケープ	平成29-32年度 見の越トンネル工事	B
			B

【凡例】

- A: 試行は十分な成果があり、技術の導入効果や社会実装の実現性について高く評価できる  
 B: 試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される  
 C: 試行は一定の成果があるが、技術の社会実装には更なる技術開発や課題解決が必要

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト  
試行技術の評価結果(案)(技術Ⅱ)

技術Ⅱ：データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
1	株式会社NIPPO 株式会社ザクティエンジニアリングサービス	函館江差自動車道 木古内町 亀川南舗装工事	B
2	前田道路株式会社 法政大学 三菱電機エンジニアリング株式会社	河辺地区道路改良舗装工事	A
3	大成ロテック株式会社 大成建設株式会社 株式会社EARTHRAIN ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社 日本ゼム株式会社	玉川野田地区舗装工事	B
4	大成建設株式会社 成和コンサルタント株式会社 横浜国立大学 一般社団法人日本建設業連合会 パナソニックアドバンステクノロジー株式会社 ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社 KYB株式会社 極東開発工業株式会社 パンフィックシステム株式会社	R2国道357号塩浜立休山側下部工事	B
5	国際航業株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社ザクティエンジニアリングサービス	江東ポンプ所江東系ポンプ棟建設その2工事	A
6	青木あすなる建設株式会社 株式会社建設システム	平成30年度 犀川遊水地五六川牛牧排水樋門整備工事	A
7	株式会社大林組 前田建設工業株式会社 フジミコンサルタント株式会社	新名神高速道路 大石龍門工事	A
8	大成ロテック株式会社 株式会社エム・ソフト 東京大学	国道24号栗栖地区管路敷設他工事	C
9	鹿島建設株式会社 株式会社ジェビコ 岩手大学 東京農業大学	小田川付替え南山掘削他工事	B
10	株式会社大林組 東京大学	安芸バイパス久井原トンネル工事	A
11	株式会社愛亀 株式会社環境風土テクノ 可児建設株式会社 立命館大学 応用技術株式会社 iシステムリサーチ株式会社	令和3-4年度松二維持工事	A

【凡例】

- A: 試行は十分な成果があり、技術の導入効果や社会実装の実現性について高く評価できる
- B: 試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される
- C: 試行は一定の成果があるが、技術の社会実装には更なる技術開発や課題解決が必要
- D: 試行に成果があったとは言い難い(該当無し)